友だち 100 人できるかな

扇台小4年1組から広げよう「友達の輪」

ゴーヤ、落花生の観察飼育を通しての交流

金沢市立扇台小学校 坂上 則子

ゴーヤ・落花生を植えよう

4月末,鹿児島県枕崎小学校からゴーヤの種を,千葉県旭東小学校から落花生の種を 送ってもらいました。両校ともに写真やメッセージ付きの手紙が同封されていました。子ども達はとてもうれしそうでした。ゴーヤと落花生を育ててみたいなという意欲ももてたようです。そこで,まだほかにも9つの学校で一緒に育てる予定だということを知らせました。学校名や県名を伝えると早速場所探しが始まりました。ただこの時点では,たくさんの学校と一緒に育てるんだという実感は今ひとつわかないようでした。

芽が出た?

落花生の方は順調に芽が出てきましたが,ゴーヤの方は直接畑に植えたせいなのか全然 芽が出ません。子ども達は次第に焦ってきました。子どもの広場の掲示板を通して,他校 の様子を調べる子も出てきました。結局ゴーヤの芽が出たのは7月に入ってからでした。

他の学校の様子から何が違うのかということを話しあいました。育て方と気温という考えがでました。育て方については、図鑑などで調べてくる子もいました。気温については気づいたのが7月であまり地域による差がなかったのではっきりしませんでした。7月半ばになると半分あきらめて「育ったのをください。」という書き込みをする子も出てきまし



た。発芽まで1月から2月もかかったのに,意欲が持続したのは他校との関わりがあったからだと思います。

私たちの学校を紹介をしたい

6月の国語の教材に新聞記者になろうというのがあります。新聞作りをするときに子ども達は 一緒にゴーヤや落花生を育てている学校に新聞を送りたいと考えました。新聞記事の中にはもちろんいまのゴーヤや落花生の様子も入れます。また学校の様子や自慢できるところを紹介する記事も書こうということになりました。普段文章を書くのが苦手な子もとにかく伝えたい!という気持ちが強くて何とか一つの記事を作ることができました。落花生やゴーヤを観



察するときは大きさ、葉の枚数など、数値化するとわかりやすいということにも気づいていきました。写真を撮ったり記事の構成を考えたりと予想していた以上に時間はかかってしまいましたが、子供達の満足のいくものに仕上がったようです。 1 学期末に送ることができました。



子供達の気持ちに少しずつ友達の輪が芽生えてきたような・・

夏休み前に送った新聞の反応が少しずつ返ってきました。子供の広場の掲示板を通して や手紙などですが、自分の名前を書いてある手紙やメールに子供たちはとても喜んでいま

した。夏休み中の植物への水やりも順番を決めてすることに なりました。

夏休みの世話が心配だったのですが、新聞作りがきっかけになり、他の学校には負けられないという気持ちも出てきたようです。落花生の虫食いについて相談を持ちかける子も出てきました。



いよいよ収穫!?そして・・。

2学期になりいよいよ収穫の時期を迎えました。落花生は順調なのですが、おそれていたとおりゴーヤは一つも実をつけませんでした。が、枕崎小から取れたてのゴーヤが学校へ届けられました。宅配便の箱を持っていくと子供達の歓声があがりました。新聞にていねいにくるんであったので、そのまま持って、「ごつごつした感じ」とか「においは・」などと大騒ぎです。中身を確認して、いよいよ食べる相談になりました。インターネットで料理法を調べて自分の「ぴかいち」を選んでからみんなで作るものを決めました。それぞれが「ぴかいち」の訳を話し合って4つの献立が決まりました。種を植えるまでは「ゴーヤは苦いから嫌い」とか「できても絶対食べたくはないな」といっていた子もそんなことを言ったことなど忘れたように真剣に考えています。送ってもらったゴーヤというのは特別の魅力があるようでした。結局ポイントは簡単、おいしそうにしぼられ、チャーハン、リング揚げ、フライ、シャーベットの4種類を作ることになりました。どの子も気合いが入っていました。全種類を一口ずつ試食してみました。そのあと子供の広場を通してお礼を書いたり作ったものの紹介をしたりしました。どの子も苦かったけれどおいしかったよと書いていました。ゴーヤと一緒に届いた暖かい気持ちを子供達もちゃんと感じていたようです。



もっと広げたいな、友達の輪

今子供たちは落花生の調理法を調べています。 2 年生も落花生を育てているので今度は おいしい作り方を見つけたら 2 年生にも教えてあげるつもりです。

4月からの長い期間の観察を伴う学習になりましたが、子供達の意欲を持続させながら行うことができたのは、ほかの学校との交流を続けていたせいではないかと思っています。種や新聞などの物だけではなく、掲示板やいろいろな活動を通しての心のやりとりが大きく影響しているように思えます。

今後も、伝えあう、教えあう活動を通して、も っともっと交流の輪が広がっていけるようにそ



して 校の・・さんにこれを伝えたいなというようなお互いに顔の見える交流にしていけたらと考えています。